



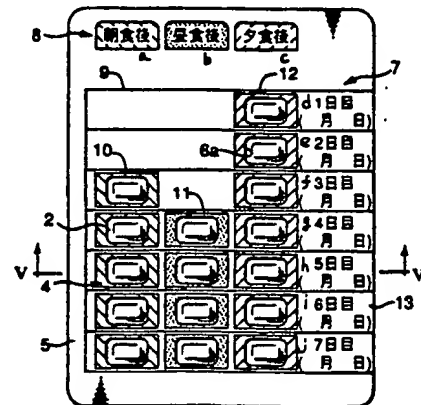
(51) 国際特許分類6 B65D 83/04	A1	(11) 国際公開番号 WO97/03896  (43) 国際公開日 1997年2月6日(06.02.97)
(21) 国際出願番号 PCT/JP96/01686  (22) 国際出願日 1996年6月19日(19.06.96)  (30) 優先権データ 特願平7/183922 1995年7月20日(20.07.95) JP  (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 日本イーライリリー株式会社 (ELI LILLY JAPAN KABUSHIKI KAISHA)(JP/JP) 〒651 兵庫県神戸市中央区磯上通7丁目1番5号 三宮プラザビル Hyogo, (JP)  (72) 発明者：および  (75) 発明者／出願人 (米国についてのみ) 上徳桂子(UWATOKU, Keiko)(JP/JP) 〒663 兵庫県西宮市枝川町6丁目22-303 Hyogo, (JP)  (74) 代理人 弁理士 青山 葆, 外(AOYAMA, Tamotsu et al.) 〒540 大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル 青山特許事務所 Osaka, (JP)		(81) 指定国 AL, AM, AT, AU, AZ, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, HU, IL, IS, KE, KG, KR, KZ, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, ARIPO特許 (KE, LS, MW, SD, SZ, UG), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), 欧州特許 (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG).  添付公開書類 国際調査報告書

(54) Title: TABLET CONTAINER

(54) 発明の名称 錠剤用容器

## (57) Abstract

A tablet container wherein the tablets to be administered in an ever-increasing dose are arranged according to the dose necessary for each administration time for each day without fail while avoiding troublesome checking procedures. The container is composed of a container body (4) provided with a number of breakable compartments (2) for each tablet on a sheet and a pair of mounts (5) sandwiching the container body (4) between themselves and having openings (6a) from which the compartments (2) are exposed. The openings (6a) are arranged in a matrix wherein one of the row and column refers to the data and the other of them refers to each of the administration times for each day. The mounts (5) have outer frames (9) each enclosing the opening(s) (6a) corresponding to the dose(s) for each day and inner frames (10, 11, 12) each enclosing the opening (6a) corresponding to the dose for each administration time.



a ... After breakfast  
b ... After lunch  
c ... After supper  
d ... 1st day (date)  
e ... 2nd day (date)  
f ... 3rd day (date)  
g ... 4th day (date)  
h ... 5th day (date)  
i ... 6th day (date)  
j ... 7th day (date)  
k ... 8th day (date)

(57) 要約

漸増投与される薬の量を、煩わしいチェックなしでも間違わないようにするために、漸増投与される錠剤をそれぞれの日の各服用時に必要な量ずつ区分けして配列する錠剤用容器を用い、この容器を、錠剤を収納する破断可能な複数の収納部(2)をシート上に備えた容器本体(4)と、容器本体(4)を表裏からはさむとともに容器本体(4)の収納部が露出する開口(6a)を有する台紙(5)とから構成する。台紙(5)の開口(6a)は、日を縦または横の一方に、1日のうちに数回定められた服用時をその他方にとったマトリックス配列上に形成し、台紙(5)には、日ごとの服用量に対応する開口(6a)を囲む外枠(9)と、服用時ごとの服用量に対応する開口(6a)を囲む内枠(10, 11, 12)とを形成する。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願をパンフレット第一頁にPCT加盟国を特定するために使用されるコード

AL	アルバニア	DE	ドイツ	LI	リヒテンシュタイン	PL	ポーランド
AM	アルメニア	DK	デンマーク	LC	セントルシア	PT	ポルトガル
AT	オーストリア	EE	エストニア	LK	スリランカ	RO	ルーマニア
AU	オーストラリア	ES	スペイン	LR	リベリア	RU	ロシア連邦
AZ	アゼルバイジャン	FI	フィンランド	LS	レソト	SD	スーダン
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	FR	フランス	LT	リトアニア	SE	スウェーデン
BB	バルバドス	GB	ガボン	LU	ルクセンブルグ	SG	シンガポール
BE	ベルギー	GR	ギリシャ	LV	ラトヴィア	SI	スロベニア
BG	ブルガリア	GU	グアム	MC	モナコ	SK	スロバキア
BJ	ベナン	HN	ホンジュラス	MD	モルドヴァ共和国	SZ	スワジランド
BR	ブラジル	IE	アイルランド	MG	マダガスカル	TD	チャド
BY	ベラルーシ	IL	イスラエル	MK	マケドニア共和国	TG	トーゴ
CA	カナダ	IS	アイスランド	ML	マリ	TJ	タジキスタン
CC	中央アフリカ共和国	IT	イタリア	MN	モンゴル	TM	トルクメニスタン
CG	コンゴ	JP	日本	MR	モリタニア	TR	トルコ
CH	スイス	KE	ケニア	MW	マラウイ	TT	トリニダード・トバゴ
CI	コート・ジボアール	KG	キルギスタン	MX	メキシコ	UA	ウクライナ
CM	カメルーン	KR	朝鮮民主主義人民共和国	NE	ニジェール	UG	ウガンダ
CN	中国	KZ	カザフスタン	NL	オランダ	US	アメリカ合衆国
CU	キューバ			NO	ノルウェー	UZ	ウズベキスタン
CZ	チェコ共和国			NZ	ニュージーランド	VN	ベトナム

## 明 細 書

### 錠剤用容器

#### 技術分野

本発明は、錠剤用容器に関し、特に、漸増投与される錠剤を区分けして収納する錠剤用容器に関する。

#### 背景技術

従来、例えばパーキンソン病と診断された患者に対して投与する薬の量は、一般に、最初の2週間は体を徐々に薬に慣らすために日を追って増量するものとして定められている（漸増投与）。この期間中、定められた量の薬を患者が間違わずに服用できるようにするため、従来は、例えば、それぞれの日の朝食後、昼食後、夕食後の服用量について記述した説明文や、それぞれの日の各食後の服用量を表した表を、薬とともに患者に与えていた。

この場合、説明文や表には薬を指示どおりに服用するようにとの注意書きが設けられているが、それでも患者が服用量を誤る可能性はあった。また、服用量の間違いがないようにするには、何日目のどの食後の分まで服用し終わったかを患者が服用の都度チェックしておく必要があった。

#### 発明の開示

したがって、本発明の解決すべき技術的課題は、パーキンソン病などの治療ために漸増投与される薬の量を、患者がこのような煩わしいチェックをしなくても間違わないようにすることである。

上述の技術的課題を解決するため、本発明によれば、漸増投与される錠剤を、それぞれの日の各服用時に必要な量ずつ区分けして配列した錠剤用容器が提供される。

この錠剤用容器は、錠剤を収納する破断可能な複数の収納部をシート上

に備えた容器本体と、該容器本体を表裏からはさむとともに該容器本体の収納部が露出する開口を有する台紙とからなり、台紙の開口が、日を縦または横の一方に、1日のうちに数回定められた服用時をその他方にとったマトリックス配列上に形成され、台紙が、日ごとの服用量に対応する開口を囲む外枠と、服用時ごとの服用量に対応する開口を囲む内枠とを有することを特徴としている。

このように構成した錠剤用容器を用いれば、服用するたびに錠剤が容器から取り出されるので、残っている最初の錠剤が次の服用分であることが患者に明確に分かる。このため、何日目などの食後の分まで服用し終わったかを患者が服用の都度チェックしなくても、漸増投与される薬を正確に服用することができる。

また、上記構成においては、台紙の内枠を、各服用時ごとに別の色または模様で分けすることが好ましい。このように構成すれば、朝食後、昼食後、夕食後などの分類がよりはっきりとするので、患者がさらに正確に薬を服用することが可能となる。

#### 図面の簡単な説明

図1は、本発明の実施の形態に係る1枚目の錠剤用容器の正面図である。

図2は、2枚目の錠剤用容器の正面図である。

図3は、3枚目の錠剤用容器の正面図である。

図4は、4枚目の錠剤用容器の正面図である。

図5は、図1のV-V線断面図である。

図6は、台紙内での容器本体の配置を示す図である。

#### 発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明に係る錠剤用容器の実施の形態を、図1から図6を用いて詳細に説明する。なお、この錠剤用容器は、パーキンソン病などの治療

のために漸増投与される錠剤を収納する容器であって、2週間分を4枚に分けて収納するものとして構成されている。

図1は1日目から7日目までの錠剤を収納する1枚目の容器の正面図、図2は8日目から10日目までの錠剤を収納する2枚目の容器の正面図、図3は11日目と12日目の錠剤を収納する3枚目の容器の正面図、図4は13日目と14日目の錠剤を収納する4枚目の容器の正面図である。また、図5は図1のV-V線断面図である。

図5に示すように、この錠剤用容器は、錠剤1を収納する破断可能な複数の収納部2をシート3上に備えた容器本体4と、容器本体4を表裏からはさむように2つ折りになった台紙5とから構成され、台紙5には、容器本体4の収納部2が突出する開口6aと、錠剤取り出し用の開口6bが表裏に位置を揃えて形成されている。なお、錠剤1は前面から取り出すことも可能であるので、開口6bは必ずしも設けなくてもよい。

台紙5の開口6a、6bは、薬を服用し始めてから何日目であるかの表示7を縦に、1日に3度の服用時として定められた朝食後、昼食後、夕食後の表示8を横にとってマトリックス配列されている。1枚目の容器に関して言うと、薬の服用量は、1日目と2日目は夕食後に1錠ずつ、3日目は朝食と夕食後に1錠ずつ、4日目から7日目までは毎食後に1錠ずつであり、開口6a、6bは、これらの服用時に対応した位置にのみ形成されている。

台紙5の表面には、日ごとの服用量に対応する開口6a、6bを区分けして囲む外枠9と、服用時ごとの服用量に対応する開口を各外枠9の中で囲む内枠10、11、12とが形成されている。また、台紙の内枠10、11、12は、それぞれ図では斜線及び点描で示しているが、各服用時ごとに別の色または模様で区分けされている。さらに、台紙の外枠内には、

何日目であるかの表示 7 に加えて、より正確な服用を期して、日付記入欄 13 が設けられている。

8 日目及び 9 日目の服用量は毎食後に 2 錠ずつ、10 日目及び 11 日目の服用量は毎食後に 3 錠ずつ、そして 12 日目から 14 日目までの服用量は毎食後に 4 錠ずつであり、図 2 に示すように、2 枚目の容器の外枠 9 は、8 日目と 9 日目を横に 2 列ずつ区切り、10 日目は 3 列を区切っている。また、図 3 に示すように、3 枚目の容器の外枠 9 は、11 日目を 3 列、12 日目を 4 列で区切り、4 枚目の容器の外枠 9 は、図 4 に示すように 13 日目と 14 日目をそれぞれ 4 列ずつに区切っている。

上記構成の錠剤用容器に錠剤を入れておけば、服用するごとにその分の錠剤を容器本体 4 の収納凹部 2 を破って取り出すことになるので、破れていない最初の収納部 2 のある内枠 (10, 11, 12 のいずれか) から、次に服用するのに必要な量の錠剤を間違いなく知ることができる。

次に、台紙 5 の中での容器本体 4 の配置について説明する。錠剤 1 が入った容器本体 4 は、一般に、錠剤 1 を 2 列に配置し、各収納部 2 を 1 つずつ切り取ることができる構成になっている。例えば、錠剤 1 を 5 個ずつ 2 列に配列した容器本体 4 を用いて 2 枚目から 4 枚目の容器を作成する場合は、図 6 に示すように、10 個の錠剤を収納した切り取っていない容器本体 4 と、1 列 5 個分を切り取った容器本体 4 a と、2 列 4 個分を切り取った容器本体 4 b と、1 列 2 個分を切り取った容器本体 4 c とを組み合わせて用いることができるが、組み合わせは任意に変えることができる。また、図 1 に示した 1 枚目の容器の場合には、さらに仮想線で示した部分 14 を切り取って使用すればよい。

### 請求の範囲

1. 漸増投与される錠剤(1)を収納するための錠剤用容器であって、  
上記錠剤(1)を収納する破断可能な複数の収納部(2)をシート(3)上に備えた容器本体(4)と、該容器本体(4)を表裏からはさむとともに該容器本体(4)の収納部(2)が露出する開口(6a)を有する台紙(5)とからなり、  
上記台紙(5)の開口(6a, 6b)は、日(7)を縦または横の一方に、1日のうちに数回定められた服用時(8)をその他方にとったマトリックス配列上に形成され、  
上記台紙(5)は、日ごとの服用量に対応する開口(6a, 6b)を囲む外枠(9)と、服用時ごとの服用量に対応する開口(6a, 6b)を囲む内枠(10, 11, 12)とを有することを特徴とする錠剤用容器。
2. 上記台紙(5)の内枠(10, 11, 12)が、各服用時ごとに別の色または模様で分けられたことを特徴とする請求項1記載の錠剤用容器。

Fig. 1

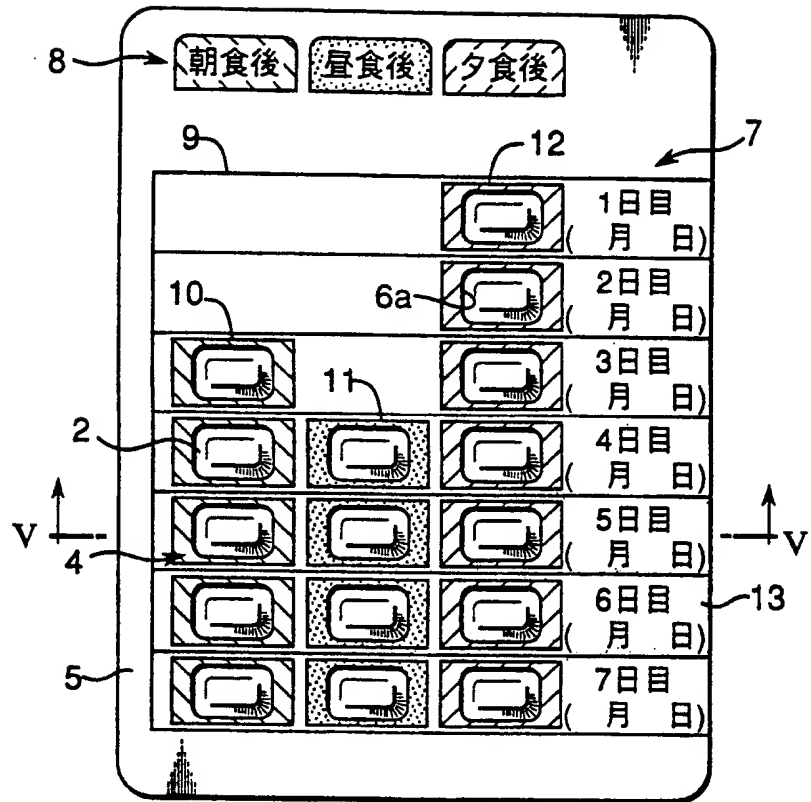




Fig.2

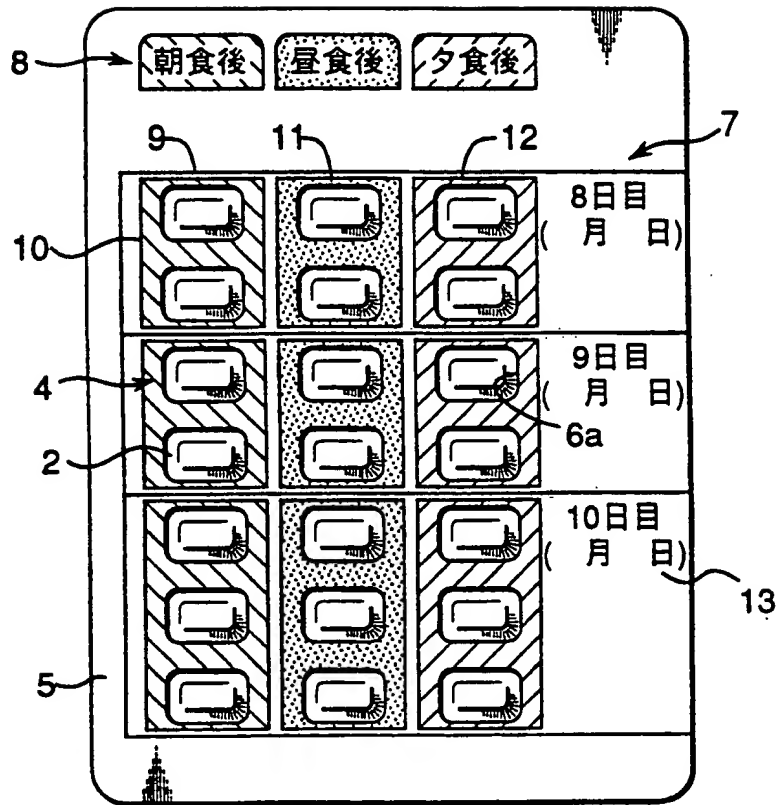
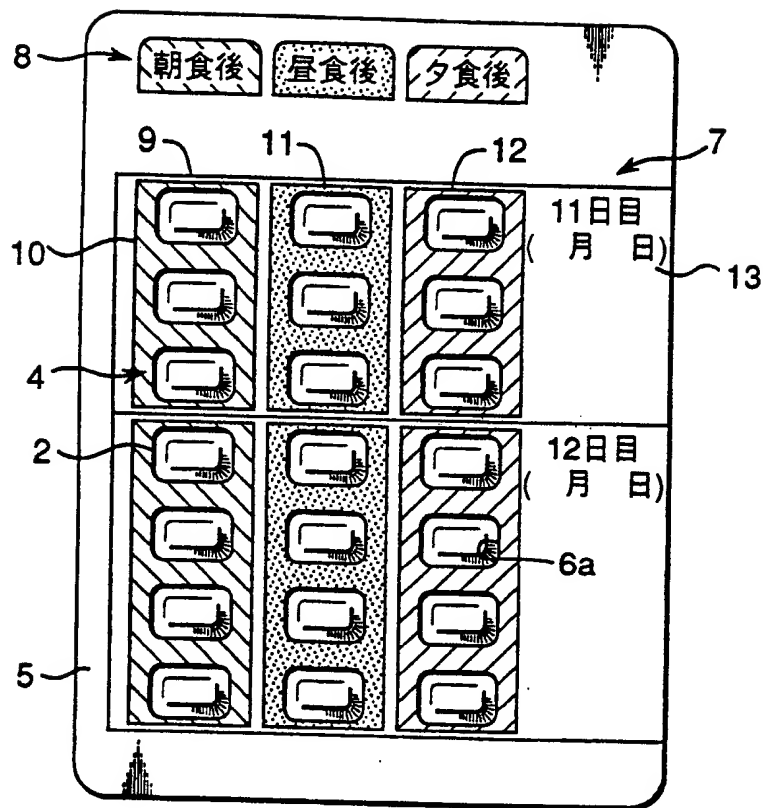


Fig.3



**Fig.4**

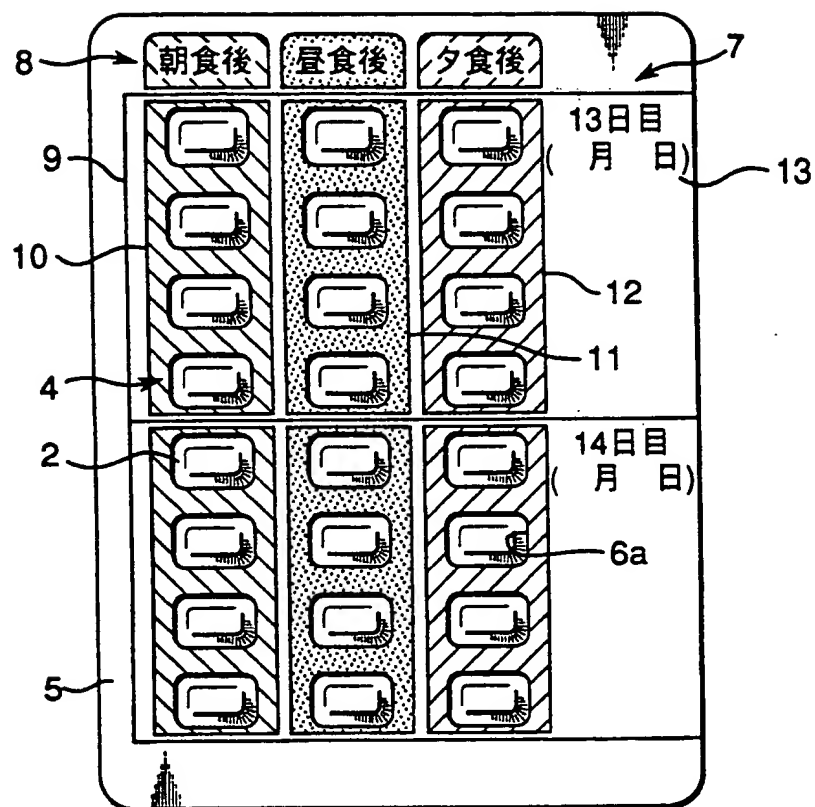


Fig.5

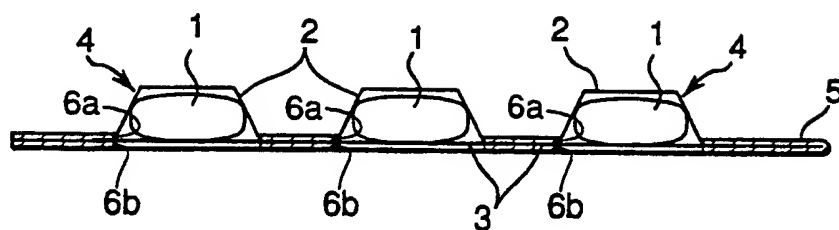
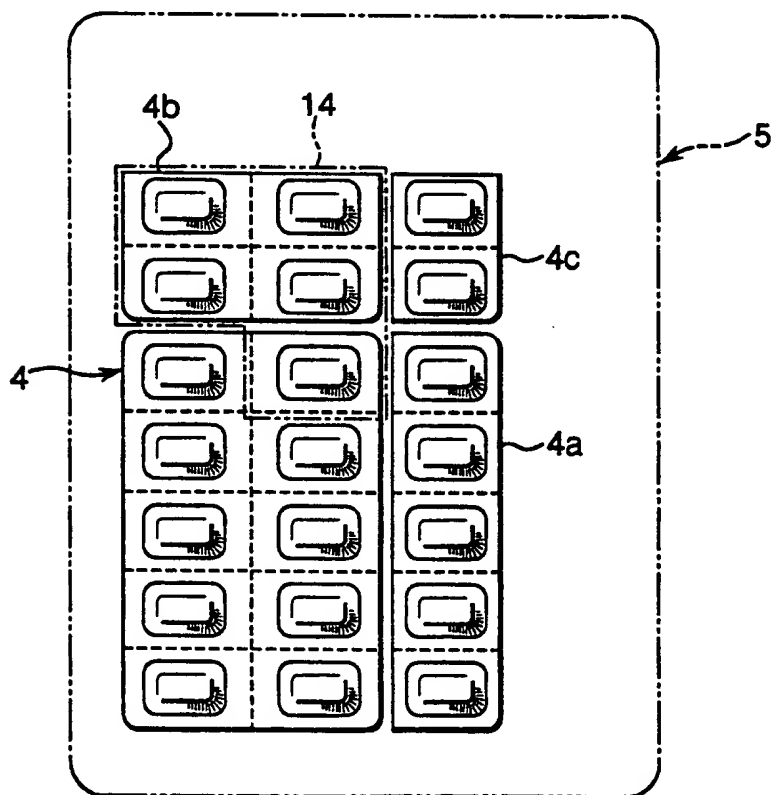


Fig.6



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP96/01686

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. C1<sup>6</sup> B65D83/04

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. C1<sup>6</sup> B65D83/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926 - 1996
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971 - 1996
Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994 - 1996

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP, 55-86461, A (Beecham Group Ltd.), June 30, 1980 (30. 06. 80), Page 2, upper right column, line 2 to lower left column, line 13; Fig. 1 (Family: none)	1 - 2
Y	JP, 63-500448, A (Leonard, Walter G.), February 18, 1988 (18. 02. 88), Page 7, upper right column, lines 2 to 8; Figs. 2, 5 & WO, A1, 8701100 & AU, A1, 6282086 & ZA, A1, 8606035 & EP, A1, 232408 & US, A, 4736849 & CA, A1, 1268744 & NZ, A, 217166 & US, A, 4994449	1 - 2

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

## \* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"Z" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

July 31, 1996 (31. 07. 96)

Date of mailing of the international search report

August 13, 1996 (13. 08. 96)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))		
Int. cl <sup>1</sup> B 65 D 83 / 04		
B. 調査を行った分野		
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))		
Int. cl <sup>1</sup> B 65 D 83 / 04		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1926-1996 日本国公開実用新案公報 1971-1996 日本国登録実用新案公報 1994-1996		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 55-86461, A (ピーチャム・グループ・リミテッド) 30. 6月. 1980 (30. 06. 80) 第2頁右上欄第2行-左下欄第13行、第1図 (ファミリーなし)	1-2
Y	JP, 63-500448, A (レオナルド、ウォルター ジー) 18. 2月. 1988 (18. 02. 88) 第7頁右上欄第2-8行、第2、5図 & WO, A1, 8701100 & AU, A1, 6282086 & ZA, A1, 8606035 & EP, A1, 232408 & US, A, 4736849 & CA, A1, 1268744 & NZ, A, 217166 & US, A, 4994449	1-2
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日	
31. 07. 96	13.08.96	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 前田 幸雄	3E 7632
	電話番号 03-3581-1101	内線 3346